

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	大学等施設の整備に係る基準等の策定等		<b>担当部局庁</b>	大臣官房文教施設企画部		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成16年度		<b>担当課室</b>	参事官(技術担当)付		参事官 山崎 雅男	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国立の文教施設並びに国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人(以下、「国立大学法人等」)が整備する文教施設の一定水準以上の質を確保するとともに、施設整備事務の合理化・効率化を推進する。 また、厳しい財政状況の中でも国立大学法人等で教育、研究が持続的に円滑に行えるよう、現在保有する施設を最大限に活用するため、適切な維持管理等の施設マネジメントの取組を推進する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	各大学の特性を踏まえた施設マネジメントの取組を支援するため、施設マネジメントに取り組んでいる全国の大学を対象に委託事業を実施し、これらの成果について、普及・啓発を図り、国立大学法人等における施設マネジメントに関する取組を推進する。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	2	3	4	3	4
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	2	3	4	3	4	
	執行額	1	3	4			
執行率(%)	66.6%	89.3%	94.9%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	国立大学法人等の施設について、教育、研究が持続的に円滑に行えるよう、現在保有する施設を最大限に活用することを促進する。		成果実績	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業採択機関数		活動実績 (当初見込み) 機関数	-	-	2	-
<b>単位当たりコスト</b>	(1百万円/1機関)		算出根拠	H23年度執行額/事業採択機関数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.0百万円	1.4百万円				
	職員旅費	0.4百万円	0.4百万円				
	委員等旅費	0.0百万円	1.0百万円				
	庁費	1.1百万円	1.2百万円				
	大学改革推進委託費	1.8百万円	0.0百万円				
	計	3.4百万円	4.0百万円				

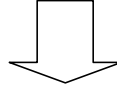
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、第3次国立大学法人等施設整備5カ年計画においてその必要性が明記されるなど、政策の優先順位が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、十分な公告期間を確保した上で企画競争を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。 また、他事業と比較するなどにより、単位あたりコストの削減に努めているところ。 なお、委託契約の締結にあたっては、事業経費の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っているところである。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	大学等の実態に即した取組に対して委託事業を実施しており、実行性の高い事業となっている。 さらに、当事業で得られた成果報告書については、各国立大学法人等に配布するとともにホームページに掲載するなど、大学法人等で積極的に活用できるための措置を実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・公募にあたっては、文部科学省ホームページや業界紙に掲載し参加表明者を募ったところであるが、より多くの者から参加表明が行われるよう、各種会議等で積極的な周知をしていく必要がある。</p> <p>・経費の執行に関しては、委託先から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。</p> <p>・関連部署との連携を強化しつつ、本事業の取組・成果について説明会の開催や文部科学省ホームページに公表するなど、引き続き成果の普及を図るとともに、国立大学法人等の施設マネジメントの取組について、効果の検証に努めてまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、施設マネジメントに取り組む大学を対象とする委託事業の成果を普及・啓発することにより、国立大学法人等における施設マネジメントの取組を推進するものであり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:当該事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、さらなる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>平成25年度は有識者による検討会を設置し、24年度に実施する施設マネジメントの取組に関するアンケート調査等の分析結果を踏まえた提言等の取りまとめを行うことから、委託費・旅費の積算(単価)の見直し等を行い、概算要求に▲2百万円反映した。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	対象外-0004

※平成23年度実績を記入

文部科学省  
4百万円

諸謝金・  
委員等旅費 0.1百万円  
職員旅費 0.5百万円  
庁費 0.9百万円

を含む



【公募・委託】

A. 大学施設マネジメント推進支援事業:2百万円  
北海道大学、名古屋大学(全2機関)

北海道大学:1百万円

名古屋大学:1百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人北海道大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	他大学の事例収集、他機関との打合せ	0.7			
その他	人件費、印刷費、消耗品	0.3			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道大学	大学施設マネジメント推進支援事業	1	企画競争	—
2	名古屋大学	大学施設マネジメント推進支援事業	1	企画競争	—